

事業名：ネットワーク網整備・保守事業

情報推進課 情報管理係

政策	07 計画実現に向けて								
施策	01 効率的な行財政運営の推進								
基本事業	05 情報セキュリティの確保とネットワーク基盤の安定稼働								
開始年度	平成13年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設 ・ 全庁ネットワークシステム 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク障害時に適切な対応をとる。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の職員の配置されている公共施設をネットワーク化する。 	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	接続箇所数	カ所	64	64	64	64
対象指標2						
活動指標1	ネットワーク保守点検回数	回	12	12	12	12
活動指標2						
成果指標1	事故によるシステムダウン時間数	時間	0	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	55,612	65,321	54,727	57,580
正職員人件費(B)		千円	10,755	8,016	9,766	9,780
総事業費(A+B)		千円	66,367	73,337	64,493	67,360

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ イン트라ネット維持管理 ・ ネットワーク機器維持管理 ・ 新グループウェア導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イン트라ネット保守経費 18,270千円 ・ ネットワーク回線使用料 9,103千円 ・ 機器保守、拡張等経費 3,690千円 ・ 機器等購入経費 13,770千円 （債務負担行為分含む）

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化
情報通信技術の著しい進展と危険性の増大

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
住民情報システム運用、庁内ネットワークによる情報共有等、必要不可欠なインフラである。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
庁内ネットワークの運用は、業務処理及び情報共有等大きく寄与している。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
市の職員が配置されている公共施設については、ネットワーク整備がほぼ完了し、業務の効率化に繋がっている。また、定期的なメンテナンスの実施及び回線の冗長化を確立し、障害に強いネットワークを構築していることから、ネットワーク障害は殆ど起きていない。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
情報推進課職員のネットワーク障害対応能力を高める必要がある。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
情報通信技術の進展に伴い、サーバー等機器更新時に高性能サーバーへの一元化（統合）を行い、導入費用・保守費用を削減することは可能である。	